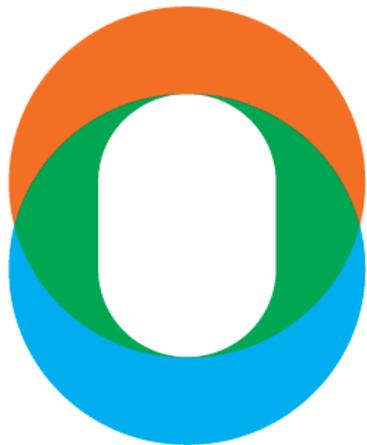


環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業  
**成果報告会 発表資料**

ともに生きる



プラごみゼロ

活動団体名：京都府亀岡市

活動地域：京都府亀岡市を  
中心とするエリア

活動テーマ：環境を軸とした  
地方創生SDGs

# 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

## 亀岡地域循環共生圏／世界に誇れる環境先進都市

ビジョン  
2020.2.27

■「亀岡らしい地域性が経済を生み、その経済が地域を支える」循環的な経済圏（エコシステム）を創り出す。これにより地域の持続可能性が高まる。

**地域の課題** 郷土愛の醸成、地域ブランドの確立

地域経済循環率と住民所得の向上、意識の共有

**地域の資源** 豊かな自然、保津川、霧、盆地、三大観光、農畜産物

子ども、霧の芸術祭、ふるさとエナジー、京都スタジアム、亀山城址

### 地域性の保全・涵養 環境

#### (4) 環境

「ゼロエミッション」の実現

- (短期目標)
- ✓ レジ袋禁止条例
  - ✓ ごみの減量
  - ✓ 環境意識の醸成

#### (5) アート

「芸術祭」による地域性の具現化



- ✓ 芸術祭の通年開催

- ・教育の場の提供
- ・体験素材の提供

【取り組み団体】  
環境事業公社/ソフトバンク

- ・担い手育成
- ・支持者/リピーターの獲得

【取り組み団体】  
亀岡市教育委員会/教育機関  
/亀岡アグリツーリズム振興協議会  
/観光協会/森の京都DMO

### 交流を通じた人材育成 社会

#### (6) 教育

グローバルな人材育成

- (短期目標)
- ✓ 企業との連携
  - ✓ ICT活用
  - ✓ 環境教育の充実

#### (7) 観光

100人が100回来たくなる交流づくり



- ✓ 運営主体の発足

### 多文化共生による郷土愛の醸成と地域内資源循環による経済活性化

(8) 全体調整【取り組み団体】 亀岡市役所/世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会

### 経済とインフラの再編 経済

#### (1) 農業

地産地消と高付加価値化 (外商)

- (短期目標)
- ✓ 販売促進の場づくり
  - ✓ 独自認証/ブランド制度の検討

#### (2) エネルギー

地域全体での自給自足

- ✓ 地域新電力会社による再エネの普及
- ✓ 消化ガス発電の導入

#### (3) 交通

次世代モビリティ技術の地域実装

- ✓ 乗合い型交通 (ワゴン、タクシー) の導入・普及

- ・資源の換金
- ・インフラの提供

- ・素材や場の提供
- ・インフラの提供

【取り組み団体】  
総合地球環境学研究所/  
京都オーガニックア  
クション/ふるさとエ  
ナジー(株)/自治会/京都タ  
クシー/京阪京都交通/  
京都先端科学大学

- ・担い手育成
- ・観光面での利用

- ・地域資源の提供
- ・感性への訴求

【取り組み団体】  
保津川遊船/NPO  
プロジェクト保津  
川/かめおか霧の  
芸術祭実行委員会

# 地域のビジョンを実現するための成果指標

地域内資源循環による経済活性化と多文化共生による郷土愛の醸成

環境を軸にした地方創生SDGs

短期目標

長期目標

環境

エコバッグ（マイバッグ）持参率の向上

一般廃棄物排出量の減量

再生可能エネルギー供給量の増量

エネルギーの地産地消率の向上

経済

エネルギー代金流出額の減少

地域経済循環率の向上

農業産出額の増加

住民所得の向上

社会

ICTを活用した次世代教育実施校の増加

定住人口の増加

観光客数の増加

中夜間人口比率の向上

# コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	<b>ライフスタイルの改革を促す「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」関連事業</b>	
	事業の概要	<p>ごみを出さない地域社会の実現を目指し、これまでのライフスタイルの変革を目指す。地域循環共生圏形成の礎となる「消費者の環境意識」を醸成・共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プラ製レジ袋提供禁止条例の運用</li> <li>○意識の繋がりを表す環境ロゴマークの活用</li> <li>○将来の雇用創出を見据えた「KAMEOKA FLY BAG Project」</li> <li>○ペットボトル削減を目的にした給水スポット整備</li> </ul>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>条例施行や今後の使い捨てプラごみ削減に向けた、消費者と事業者理解の獲得</p> <p>「FLY BAG」に関連する雇用創出を見据える中で、商品化のシステム構築と市内での製造拠点づくり</p> <p>環境ロゴマークのブランディングと積極的運用にあたっての展開方法の構築</p>
2	事業の名称	<b>亀岡ふるさとエナジー株式会社による再生可能エネルギー普及事業</b>	
	事業の概要	<p>エネルギー代金の地域外流出を抑制し、持続可能なエネルギーの地産地消システム構築を目指し、地域新電力会社「亀岡ふるさとエナジー株式会社」による、再生可能エネルギー（太陽光・消化ガス等）の普及を促進する。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>再エネの供給可能量（発電量）の増強</p> <p>市内公共施設以外の電力供給先（契約先）の開拓</p>
3	事業の名称	<b>企業連携やICTを利活用した教育の充実によるグローバルな人材育成事業</b>	
	事業の概要	<p>ソフトバンク株式会社のICTを利活用し、環境をはじめとする教育の充実を図ることで、郷土愛と誇りを持った次世代を担う人材を育成する。</p> <p>地域への誇りと郷土愛を持ったグローバルな人材を育成する教育システムを確立することで、環境先進都市としての地域ブランドの確立と移住・定住人口の増加に繋げる。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>環境以外の他分野でのICTを活用した教育コンテンツの作成や確保</p> <p>市内小中学校での導入促進</p>

# 今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

## 今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 今後、地域循環共生圏の実現に向けて必要となる事業を把握・集約することができた。
- 多様な分野の関係者にアプローチすることができた。また、今後の巻き込みを検討する上でのきっかけを作ることができた。
- 短期指標と長期指標、個別の指標間の関連を考えることができた。

## 地域の活動の上での課題

- マンダラのブラッシュアップ
- ステークホルダーだけでなく、地域全体での情報共有・理解の促進
- 短期・長期等指標の関連性の精査
- ビジョン達成のため、ステークホルダーのさらなる巻き込み

## 今後の意気込み

- 本年度スタートした「KAMEOKA FLY BAG Project」について、企業と連携した商品化とそれに伴う素材提供（廃棄予定パラグライダーの解体とバッグ用パッチワーク生地への加工）をまちの仕事として雇用創出と経済活動に繋げたい。
- 協定を締結したソフトバンク株式会社と連携したエコウォーカー事業（環境美化事業）を展開したい。  
(人流データとポイ捨てごみ分布データ等を活用した、新たなボランティア清掃の仕組みづくり)
- 各種施策に関するパートナーシップ協定締結を見据えた、新たな連携企業の開拓



FLY BAG ワークショップ

大きなパッチワークから  
自分だけのバッグをつくろう

2019年10月19日(土)10:00-16:00

会場：カメオカまちあるきセンター  
定員：200名(先着順、事前予約不要) 参加料：1,000円(税込) 所要時間：約60分  
対象：どなたでも、小学生以下のみなさんは、保護者同伴の3人に参加ください。  
※開催時間内に会場に入場してください。遅し、変更になりましたのでご了承ください。  
※服装は、参加者の安全を最優先とし、動きやすい服装をお願いします。

カメオカまちあるきセンター  
〒431-8501 静岡県沼津市  
カメオカまちあるきセンター  
〒431-8501 静岡県沼津市  
カメオカまちあるきセンター  
〒431-8501 静岡県沼津市  
THEATRE PAPPICO

## ロゴマークの作成 ～環境×アート～

- ロゴマークを通じて環境を「亀岡市のブランド」に。
- 9月～12月にワークショップを開催し、デザイナー監修のもとで作成。

## ソフトバンク社との事業連携 (2018.10.30)

- 市、教育委、環境事業公社、ソフトバンク社の4者で協定締結。
- Pepperを活用した環境教育プログラムを作成し、全国に発信。

### デザインとコラボした環境政策—ロゴマークの作成



環境に配慮した製品やお店、環境学習やエコツーリズムにタク付けしていく。



ともに生きる



プラごみゼロ



NHKニュースで取り上げられる

